

ぬのめ 布目ダム 管理開始以来最大のダム流入量を記録

よどがわすいけいぬのめがわ みずしげんきこう ぬのめ
淀川水系布目川の水資源機構が管理する布目ダム流域では、台風11号に伴い総雨量が247mmに達し、ダムへの最大流入量は平成4年4月の管理開始以来最大の毎秒約208立方メートルを記録し、ダムに2,161千立方メートルを貯留しました。

この洪水に対して、布目ダムでは、ダム下流で浸水被害の恐れがあったため、通常の防災操作以上に貯留する操作を実施し、ダム下流の布目川興ヶ原水位観測所付近で、河川水位を最大約1.7m低減(推定)させ、下流河川沿岸の浸水被害軽減に努めました。

※防災操作：大雨により、ダムに流れ込む水の一部をダムに一時的にため込んで、ダムから下流に流す量を減らし、下流の川の水位を低減させる操作。

※今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値等が変わることがあります。

平成26年8月12日

国土交通省 近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所
独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所

発表記者クラブ

県政・経済記者クラブ

奈良市市政クラブ

問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 木津川ダム総合管理所 副所長 ささきまさお 佐々木正夫

住 所：三重県名張市下比奈知2811-2

電 話：0595(64)8961(代表)

国土交通省 近畿地方整備局 淀川ダム統合管理事務所 副所長 しんかわりようじ 新川良治

住 所：大阪府枚方市山田池北町10番1号

電 話：072(856)3131(代表)

布目ダム 管理開始以来最大のダム流入量を記録

8月8日（金）、19時頃より降り始めた台風11号に伴う降雨は、淀川水系布目川の布目ダム（奈良県奈良市）上流域で、8月9日（土）12時から13時の1時間の雨量が最大36mm、総雨量は247mmに達しました。また、ダムへの最大流入量は平成4年4月の管理開始以来最大の毎秒約208立方メートルを記録し、ダムに2,161千立方メートルを貯留しました。

この洪水に対して、流入量が増加し、8月9日（土）9時10分には洪水量（毎秒100立方メートル）に達したため、防災操作を開始しました。

今回の防災操作では、ダム下流で浸水被害の恐れがあったため、ダム下流河川の状況、木津川本川の状況、ダムの貯水容量、今後の降雨等を考慮し、淀川ダム統合管理事務所長の指示により、通常の防災操作以上に貯留し、ダム流下量を毎秒80立方メートルに減量する操作を実施しました。

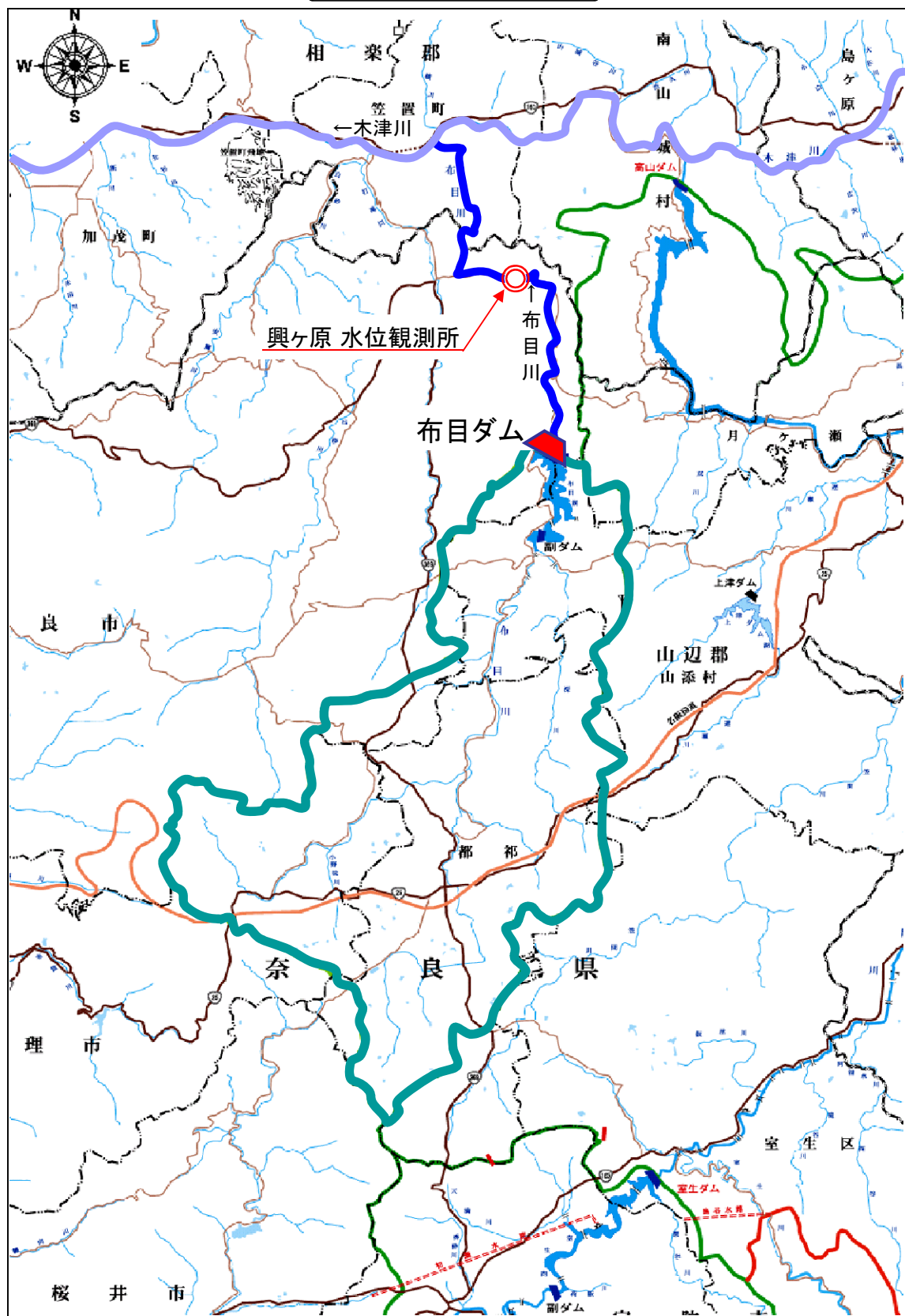
この結果、ダム下流の興ヶ原^{おくがはら}水位観測所では、この防災操作によりダムが無い場合に比べて河川水位を最大約1.7m低減したと推定され、下流の浸水被害軽減に努めました。

布目ダムでは、今後も治水・利水の両面でダム管理に万全を期し、ダム効果発現に努めて参ります。

（参考）布目ダム管理開始以降の出水記録上位3位

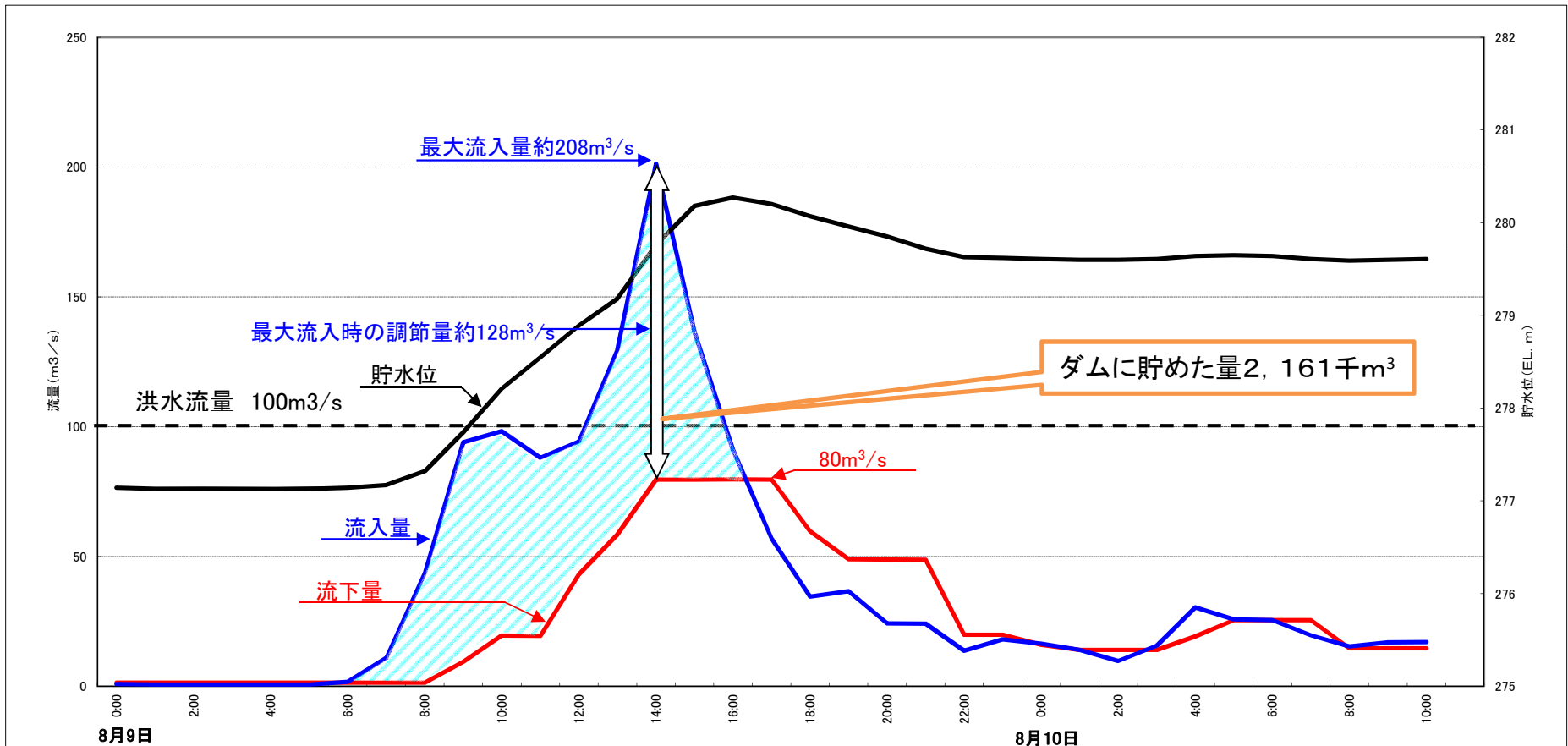
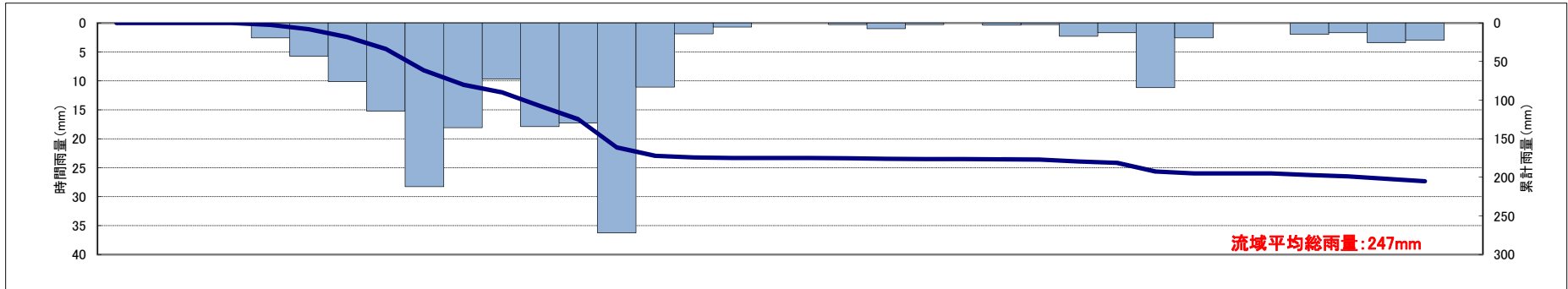
順位	記録年月日（原因）	総雨量	最大流入量
1	H26.8.9（台風11号）	247mm	毎秒208m ³
2	H25.9.16（台風18号）	252mm	毎秒195m ³
3	H21.10.7（台風18号）	188mm	毎秒189m ³

布目ダム流域平面図



木津川 布目川 布目ダム流域

布目ダム洪水調節図(平成26年8月9日 台風11号による出水)

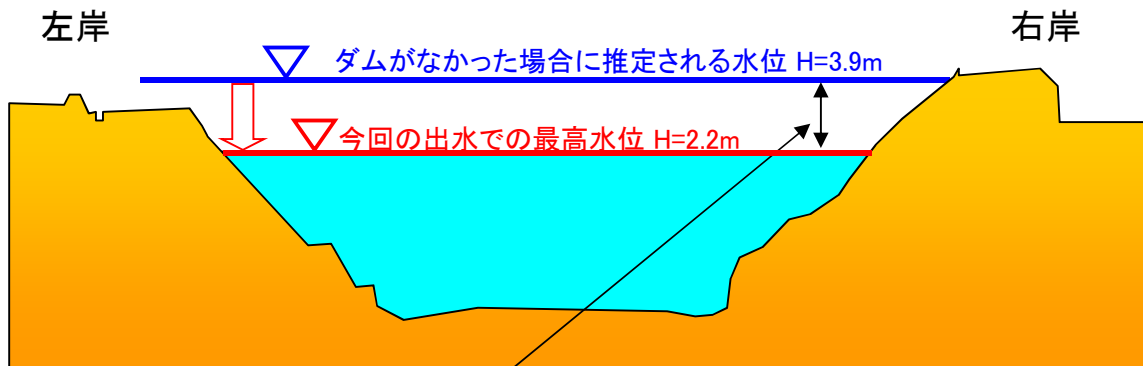


布目ダム下流河川の状況

平成26年8月9日(台風11号)

布目ダムの防災操作状況(興ヶ原地点)

※興ヶ原地点は、ダムから約6km下流の地点



ダムにより水位は約1.7m低減されたものと推定されます。

写真 ダム下流 4.0km地点



※平成26年8月9日 14時30分時点撮影



写真 ダム下流 3.7km地点



※平成26年8月9日 14時27分時点撮影



浸水被害を軽減することができたと推定されます。